

# JICAの民間提案型事業について

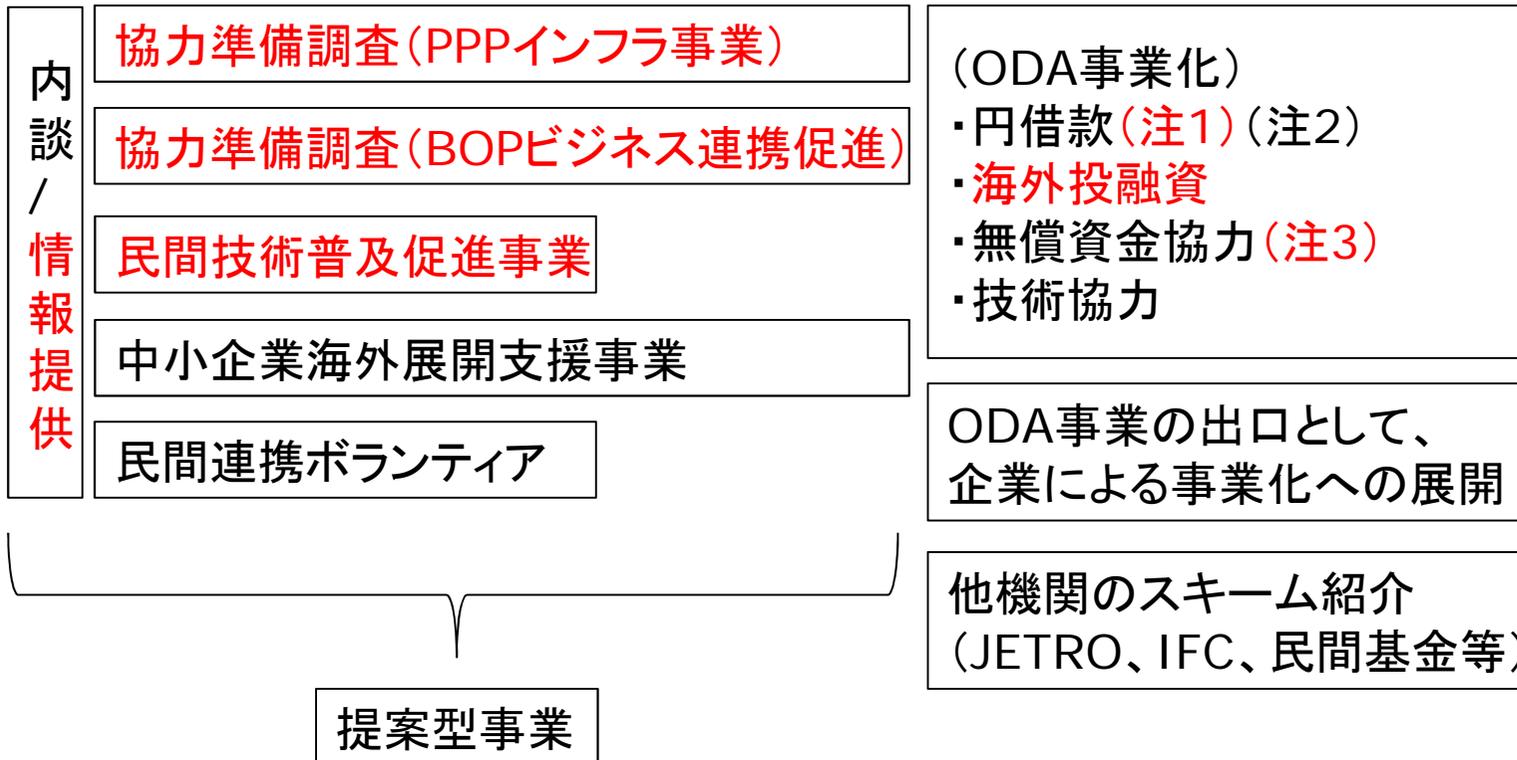
2016年7月20日

独立行政法人国際協力機構(JICA)

民間連携事業部次長 前原充宏

(Maehara.Mitsuhiko@jica.go.jp)

# 0 事業ステージ毎の民間連携事業・メニュー



(注1) VGF、EBF、信用補完スタンバイ等の制度改善あり

(注2) インフラ事業(円借款)以外に、AfDBとの協調融資による企業向け融資(サブローン)等あり

(注3) 事業運営権対応型等の制度改善あり

## 0 事業ステージ毎の民間連携事業・メニュー

---

JICAから提供できるサービス(連携するメリット)

- 開発途上国に係る情報提供(政治・経済概況、開発課題等)
- 開発途上国の政府・関係機関とのネットワーク・信頼関係に基づく関係者のご紹介、各種働きかけ
- 開発援助機関その他関係機関とのネットワーク・信頼関係に基づく関係者のご紹介
- 最適なJICA民間連携スキーム、その他ODA事業との連携可能性に係るご相談対応
- 現地でのビジネス展開に係るご相談対応 等

# 1 協力準備調査 (PPPインフラ事業)

PPPインフラ事業への参画を計画している本邦法人からの提案に基づき、海外投融資または円借款を活用したプロジェクト実施を前提として、PPPインフラ事業の基本事業計画を策定し、当該提案事業の妥当性・効率性等の確認を行う。

## ■ 対象事業

- 事業化段階で海外投融資等、JICA支援の活用見込みがある
- 建設及び運営を含むPPPインフラ事業であり、提案した当該企業が事業への投資家として参画する意図があること



## 協力準備調査 (PPPインフラ事業)

対象者	日本国登記法人
経費	1件 1.5億円 (最大上限3億円)
期間	制限なし
負担経費	・人件費 (外部人材活用費のみ) ・旅費 ・機材輸送費 ・現地活動費 ・国内研修経費 ・管理費
告知	2015年12月以後、随時応募・随時採択
実績	過去10回の公示で、合計64件を採択。

## 2 協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

貧困層(BOP層)の抱える社会的・経済的な問題解決に資するBOPビジネスの事業化にむけて、事業提案を公募し、採択案件の提案者に調査を委託する。

### ■ 対象事業

- 終了後に事業化が見込まれるもの(調査を目的としたものは不可)
- BOP層を「消費者」として捉えるだけではない、多様なビジネスモデルが対象。生産、加工、流通等のバリューチェーンへの巻き込みも可能。
- 中心をBOP層に置きつつ、MOP層～TOP層も含む全体のビジネスモデル(ホールピラミッド・アプローチ)の提案も可能。

### ■ 参考情報

- HPにて、過去の教訓や成功のポイントを公開。

トップページ> 事業・プロジェクト>  
事業ごとの取り組み> 民間連携>  
協力準備調査(BOP連携促進)

#### 知見・教訓の発信

これまでに蓄積されたナレッジを活用し、持続可能なBOPビジネス実現に向けたノウハウを発信します。

- [BOPビジネス支援の経験から得られた知見・教訓](#)

[http://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv\\_partner/BOP/knowledge/index.html](http://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/BOP/knowledge/index.html)

### 協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

対象者	日本国登記法人
経費	1件 5,000万円
期間	最大3年
負担経費	・人件費(外部人材活用費のみ) ・旅費 ・機材輸送費 ・現地活動費 ・管理費
公示(予定)	原則、年2回公示 (第1回は2016年4月実施済、第2回は2016年10月予定)
実績	過去9回の公示で合計597件の応募、107件採択(うち50件が中小企業)

## 2 協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

### 事例1: バングラデシュ「自転車搭載型浄水器を活用した水事業準備調査」

#### 開発課題

アジア最貧国といわれるバングラデシュの首都、ダッカでは車とリキシャに埋め尽くされ、高層街と貧困のスラム街が隣り合わせとなっている。スラム街は衛生環境が悪く、飲料水も不足している。

#### 提案事業

- ・独自の技術で開発した「シクロクリーン(Cycloclean)」は、自転車をこいで水を浄化できるシステム。災害時には圧倒的な力を発揮する。
- ・このシステムを使い、バングラデシュの貧困層に安心な水を安価で提供。貧困層への雇用機会の創出として水販売・事業のノウハウの提供を目指す。



「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」を通じた  
ビジネスモデル作成、事業計画立案

#### 期待される成果

浄水装置の普及で安全な水へのアクセスと貧困層の雇用を促進

- ・自転車一体型浄水装置と簡易凝固剤を利用し、ダッカ首都圏において、安心・安全で安価な飲料水をBOP層へ販売するため本制度を活用し、ビジネスモデルの検証を実施。
- ・就業機会を失うことが予想されるリキシャ運転手に対して、同装置を活用した水事業での雇用機会(飲料水の製造・販売)を提供することで、BOP層の所得向上も期待される。

### 3 開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業

日本の民間企業等の製品・技術やノウハウ、システムに対する途上国政府関係者の理解を促すことで、途上国の社会・経済開発へ活用することを目的とし、日本国内での技術・製品の視察、技術指導や現地でのセミナー、自社機材の実証等を支援する。



#### 民間技術普及促進事業

対象者	日本国登記法人
経費	1件2,000万円を上限 <b>(健康・医療特別枠(2015年度補正予算)は5,000万円)</b>
期間	最大2年
負担経費	・人件費(外部人材活用費のみ) ・旅費 ・機材製造・購入・輸送費 ・現地活動費 ・本邦受入活動費 ・管理費
募集件数	年10~20件程度
公示(予定)	原則、年2回 (第1回は2016年2月実施済、第2回は2016年9月予定)
実績	過去5回の公示で合計247件の応募、67件採択

### 3 開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業

#### 事例1：中南米・経橈骨動脈カテーテル法による虚血性心疾患治療普及促進事業 (テルモ株式会社)

##### 背景・目的

- 中南米では虚血性心疾患が死因の上位を占めているが、身体的・経済的に負担の大きい治療が主流。
- JICAによる2012年度の官民連携研修を通じ、手首から挿入し、安価かつ身体的負担が軽い「経橈骨動脈カテーテル法 (TRI法)」がメキシコで急速に普及。(シェア5%→30%)
- この成果を基に、メキシコに加え新たにブラジル、アルゼンチン、コロンビアの南米3か国を対象に、TRI法の展開とともに、テルモ社のカテーテルデバイスのシェア拡大を図るもの。

##### 「本民間技術普及促進事業」の概要

- ブラジル、アルゼンチン、コロンビア、メキシコの国立病院の医師等合計約40名を、数次に分けて日本で研修。各々半年後を目途に、現地でのフォローアップ指導を実施。
- 本邦研修では、日本のトップドクター等によりTRI法の技術指導を実施。
- 現地フォローアップでは、各国の医師、保健省高官等を広く対象とするセミナーも実施。
- JICAが有する各国政府及び公的医療機関とのネットワーク、技術移転のノウハウ等を通じてテルモと連携し、技術紹介及び移転に貢献。

##### 本事業の狙い

より持続的かつ迅速な社会開発

JICAの目的

中南米での  
社会開発

連携

企業側の目的

シェア拡大  
社会的責任

手首よりカテーテルを挿入  
(TRI法)



##### 今後の展開

メキシコでは、我が国の優れた低侵襲医療技術の普及・定着に向けた人材育成拠点の形成支援を検討中。

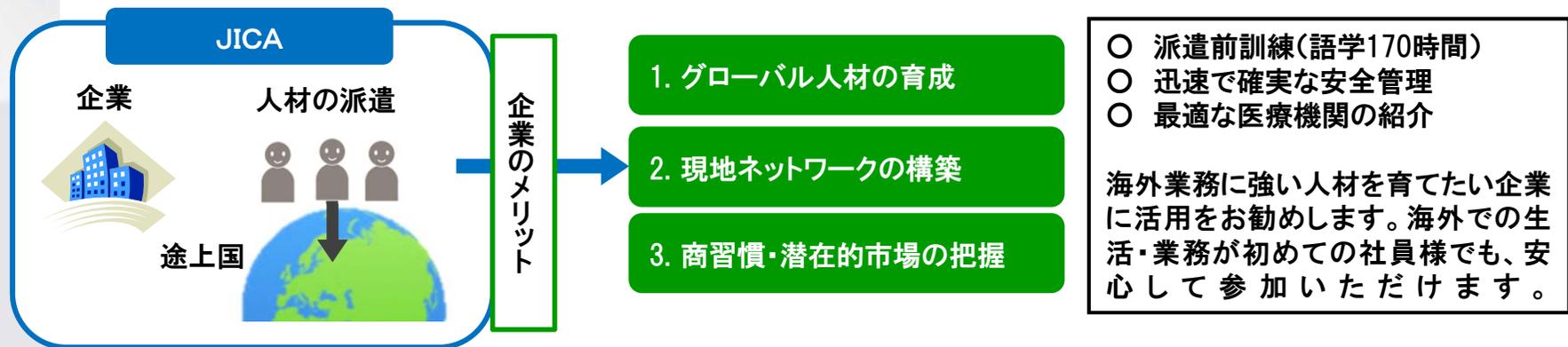
# 4 中小企業の海外展開支援

## 2015年度補正・2016年度 ODA を活用した中小企業海外展開支援事業

2016年度	基礎調査	案件化調査	普及・実証事業
<b>概要</b>	中小企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献する中小企業等の海外事業に必要な基礎情報収集・事業計画策定のための調査	中小企業等からの提案に基づき、製品・技術等を途上国の開発へ活用する可能性を検討するための調査	中小企業等からの提案に基づき、製品・技術等に関する途上国の開発への現地適合性を高めるための実証活動を通じ、その普及方法を検討する事業
<b>実施日程 (予定)</b>	<b>【1回目】</b> 2016年2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (契約締結後調査開始)  <b>【2回目】</b> 2016年9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年1月頃 採択通知 (契約締結後調査開始)	<b>【1回目】</b> 2016年2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (契約締結後調査開始)  <b>【2回目】</b> 2016年9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年1月頃 採択通知 (契約締結後調査開始)	<b>【1回目】</b> 2016年2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (先方政府機関の了承取付、 契約締結後事業開始)  <b>【2回目】</b> 2016年9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年1月頃 採択通知 (先方政府機関の了承取付、 契約締結後事業開始)
<b>公募対象</b>	中小企業等		
<b>採択予定件数 (※1)</b>	23件程度	70件程度	37件程度
<b>上限金額 (税込)</b>	850万円	3,000万円(機材(同時携行できる小型の機材を除く)の輸送が必要な場合は、5,000万円)	1億円(※2)
<b>協力期間</b>	数か月～1年程度		1～3年程度
<b>負担経費</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費(外部人材活用費のみ)</li> <li>・旅費</li> <li>・現地活動費</li> <li>・管理費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費(外部人材活用費のみ)</li> <li>・旅費</li> <li>・機材輸送費</li> <li>・現地活動費</li> <li>・本邦受入活動費</li> <li>・管理費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費(外部人材活用費のみ)</li> <li>・旅費</li> <li>・機材製造・購入・輸送費</li> <li>・現地活動費</li> <li>・本邦受入活動費</li> <li>・管理費</li> </ul>

## 5 民間連携ボランティア制度

各企業のニーズに合わせ、受入れ国や要請内容、職種、派遣期間等をカスタマイズ可能です。今後、事業展開を検討している国へ派遣し、活動を通じて、現地語、文化、商習慣、技術レベル、各種ニーズ等を把握したり、ネットワークを作ることができます。



### 民間連携ボランティア

対象者	株式会社(特例有限会社)または持分会社(合同会社、合資会社、合名会社)
期間	原則1~2年(3~11カ月の短期派遣については応相談) (派遣前訓練を実施。訓練期間は派遣期間に応じて異なる。)
負担経費	・人件費補てん(中小企業に限る※中小企業基本法に基づ) ・渡航費 ・現地生活、住居費 等
募集	随時

## お問い合わせ先

### 独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL:03-5226-6960

FAX:03-5226-6326

電子メールアドレス: [ostpp-contact@jica.go.jp](mailto:ostpp-contact@jica.go.jp)

# バングラデシュ出前浄水場 移動式小規模分散型浄水場 New Cycloclean



日本ベーシック株式会社

# 日本ベーシック株式会社 会社概要

日本ベーシックは、  
安全な飲み水づくりに  
貢献しています。

JICA(国際協力機構)との民間連携による  
 Bangladeshでの飲料水造水事業



会社名 日本ベーシック株式会社

所在地 〒211-0005  
神奈川県川崎市中原区新丸子町767番地2 氏橋ビル2階  
東急東横線「新丸子」駅下車 徒歩2分  
Tel.044-738-2215 FAX.044-738-2216  
E mail nipponbasic@ceres.ocn.ne.jp  
U R L <http://www.nipponbasic.ecnet.jp>

代表者 代表取締役 勝 浦 雄 一

設立 2005年5月

資本金 3,500万円

取引銀行 横浜銀行 武蔵小杉支店  
三菱東京U F J銀行 元住吉支店  
芝信用金庫 武蔵小杉支店  
川崎信用金庫 武蔵小杉支店

主要販売先 川崎市 国際協力機構 ( J I C A )  
エイアイティ株式会社 総合警備保障株式会社  
Desh Bidesh Enterprise.Co.,Ltd. ( Bangladesh )  
Myanmar Yutani Co.,Ltd. ( Myanmar ) 他

主要仕入先 ベーシック株式会社、 ミヤタサイクル株式会社  
株式会社大沢製作所、株式会社水生活製作所  
株式会社キッツマイクロフィルター プライムネット株式会社 他

取扱商品 自転車一体型緊急用浄水装置 海水淡水化装置  
キャリーケース収納型災害用浄水装置 常災兼備浄水器  
淡水専用ガソリンエンジン式浄水装置 他

# 日本ベーシック株式会社のBOPビジネス連携促進事業の概要



**生命を守るために  
水の安全に挑戦するBOPビジネス**

# JICA-BOPビジネス連携促進事業に応募

## スラム貧困層による貧困層のための水ビジネスに挑戦



5000万円の事業支援資金を基にバングラデシュダッカ郊外に水工場を建設。スラム向けの供水事業を開始

- スラム住民のリキシャワラ(自転車タクシーの運転手)の脚力を活用
- 自転車ペダルを漕いで、安くて安全な水を造る
- スラム地区の住民などに安全・安心飲料水を安価で提供し、スラム地区の住民の衛生状態の改善に寄与



リキシャワラはスラムの住民が多い



リキシャワラによる水工場治水作業

スラムの住民が多いリキシャワラに新しい仕事を創出した



スラム内での水衛生教育

スラムで給水活動が始まった

スラムでの給水活動は住民に大きな反響を呼んだ。子供たちを対象に水衛生教育も開始。毎回数百名以上の子供たちと、大人が集まった。



スラムで安全な水を飲用する習慣が始まった。スラム内の茶店ではこの水をミルクティーにして一杯5TKで販売して人気を呼んだ。スラム住民のBOPビジネスが生まれた。

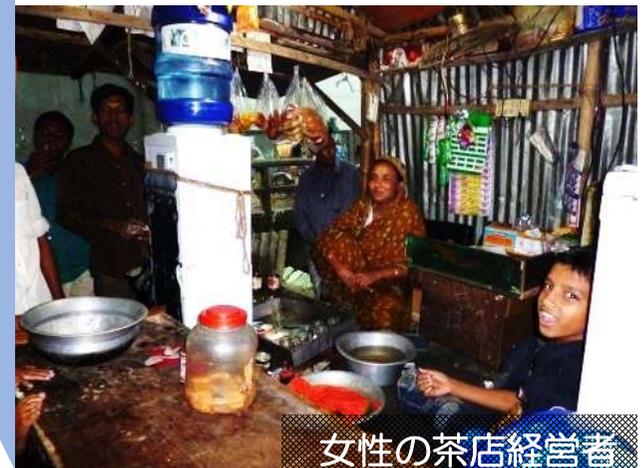
安全な水のある生活が始まった



一般家庭での水利用



大繁盛の茶店



女性の茶店経営者



ヒ素汚染が広がり、安全な水を求めて遠くの水汲み労働による女性は重労働、子供たちの勉学機会が失われている

農村部では汚染された湖沼の水の利用を強いられている

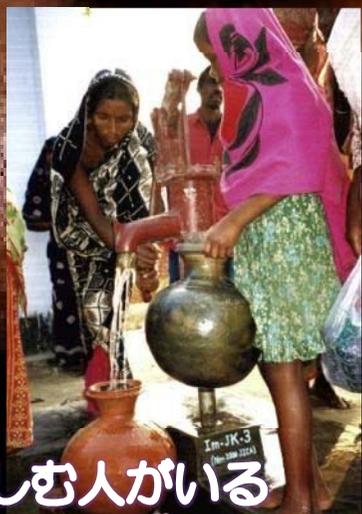
農村部での無電源小型浄水プラントの建設をめざす

# 途上国の未電化地域 に安全・安心飲料水を 届けよう

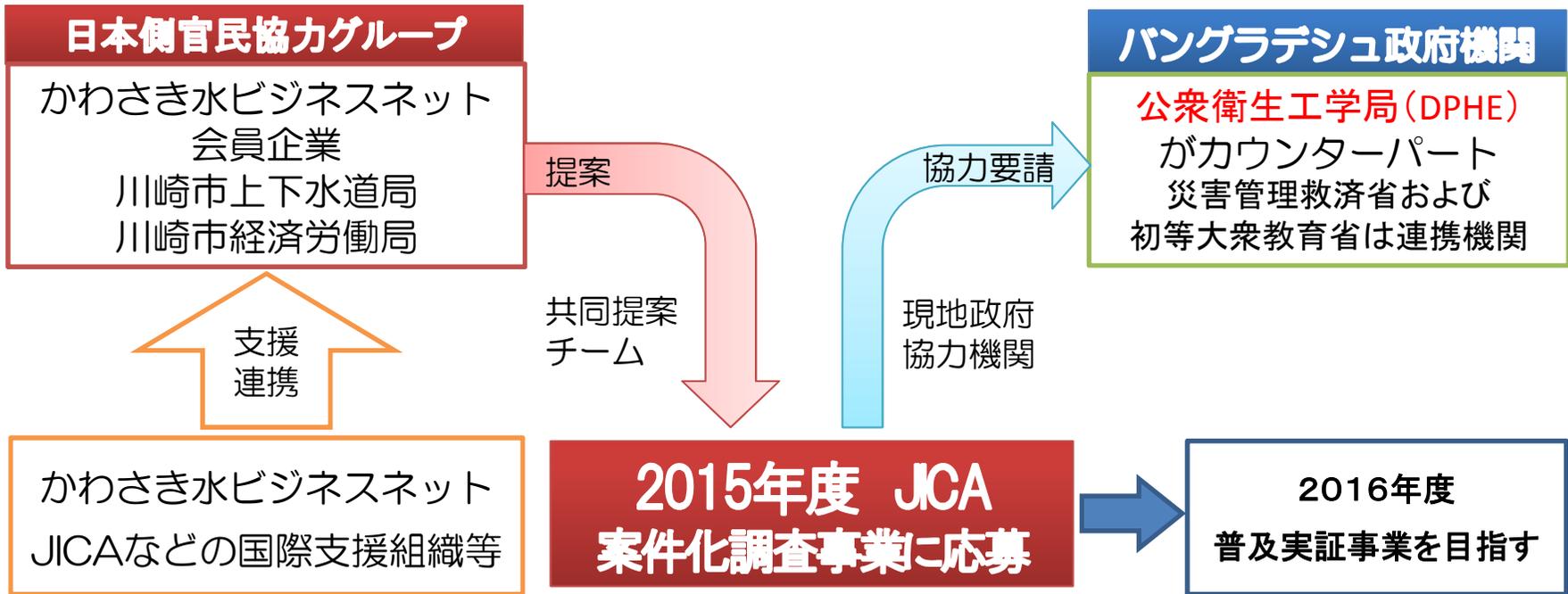
都市スラムから農村へへ



ヒ素汚染で苦しむ人がある



水汲み重労働は女性と子供の仕事



自転車搭載型浄水装置を活用したコミュニティ防災体制構築事業案件化調査

バングラデシュにおける、緊急時給水用の機材整備とコミュニティ防災体制の構築に関する調査。自転車搭載型浄水装置シクロクリーン(無電源で人力による安心・安全な飲料水の製造が可能)を活用し、緊急時および平常時での災害対策、衛生改善への貢献を目指す。



# ビジネスプラン

## Grameen Veoliaとの協業を目指す

**GRAMEEN VEOLIA WATER LTD.**  
www.grameenveoliawater.com  
Email: info@grameenveoliawater.com

**GOALMARI NETWORK**  
Water production and distribution

**PLANNED PROCESS**  
Water intake → Intermediate storage → Pump → Antracite/Sand filter → Filtration → Chlorine addition → Treated water storage → Taps → Distribution

**GRAMEEN VEOLIA WATER LTD.**

**Bangladesh Water Supply Corporation**

**GRAMEEN VEOLIA WATER LTD.**

### Bangladesh 農村での管路給水

- \* 管路1km当り300万TK(約360万円)
- \* 料金10L当り2.5TK(約4円)
- \* 最大管路距離7km



Villagers are fetching Water from a Stand Post (Tap point) of GVWL

2016/ 5/22



**Grameen Veolia Water Ltd.**





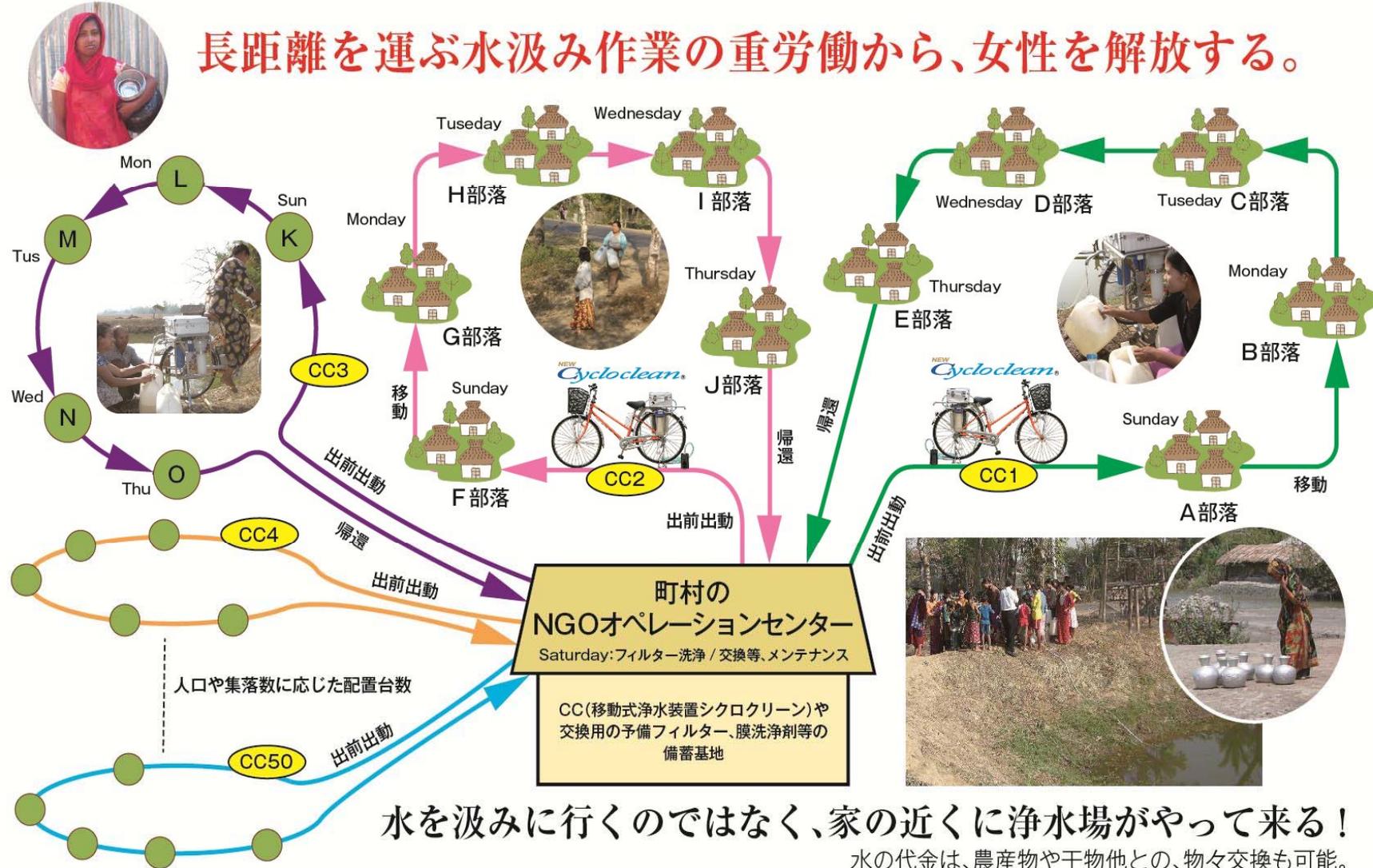
# 移動式小規模分散型浄水場＝「出前式浄水場」イメージ(プランB)

## 管路給水との補完事業

Apr.2016



### 長距離を運ぶ水汲み作業の重労働から、女性を解放する。



ご清聴ありがとうございました

日本ベーシック株式会社